

## ● 第1回 表彰式



### 厚生労働大臣 祝辞

第1回「日本医師会 赤ひげ大賞」の表彰式に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

はじめに、本日栄えある表彰を受けられる五名の皆様に対し、心からお祝いを申し上げます。

本日受賞される皆様は、地域医療の現場において、住民が安心して生活をおくれるようなまちづくりに寄り添った活動を長年にわたって行われてきました。これまで、それぞれの地域で住民の健康が守られてきたのは、在宅医療や住民の健康管理など、まさに皆様の地道で継続的な活動があったからにほかなりません。改めて皆様の日頃のご努力に深く敬意を表します。

近年、急速な少子高齢化の進展などにより、我が国の医療を取り巻く環境

は大きく変化し、様々な課題に直面しています。

このような中、厚生労働省では、質の高い医療サービスが適切に受けられる体制を構築し、全ての国民が健康で、安心して生活を送ることができる社会となるよう、全力を挙げて取り組んでいるところですが、その実現のためには、皆様のような地域医療の第一線で活躍される、全国の「赤ひげ」の皆様のご協力が不可欠です。

皆様には、地域医療の発展のため、今後ともなお一層のご尽力をいただきますようお願い申し上げます。

今回、地域医療の現場で活躍される医師に光をあてるため、本事業を創設された日本医師会、産経新聞社をはじめとする関係者の皆様に敬意を表するとともに、「日本医師会 赤ひげ大賞」の一層の発展、本日お集まりの皆様のますますのご健勝を祈念して、私の挨拶といたします。

厚生労働大臣 田村憲久  
厚生労働事務次官 金子順一 代読